

柿田川生態系研究会の概要

【研究会の概要】

柿田川生態系研究会は、湧水河川「柿田川」についての学問的興味に惹かれた研究者の任意の集まりであり、自然実験的な環境下で、湧水環境とそこに生息する生物の生活史と生物群集、生態系の構造と機能を明らかにすることを目的に研究を行っている。また、シンポジウムにおいて研究成果を発表するとともに、地域住民に参加してもらうことにより、活発な意見交換を実施している。

【調査研究の目的と活動概要】

流量、水温等が安定した条件にある湧水河川柿田川において物理環境、生物環境の関係を研究し、通常の河川における物理環境と生物環境の関係の理解を深め、地下水の利用と保全、地下水流動を視野に入れた水域（表流水+地下水）環境（生態系）の保全と河川管理のあり方の検討に資することを目的として以下の活動を行う。

- ①柿田川において湧水の起源や動態、物理環境条件と生活史及び生物群集との関係、生態系の構造と機能等多面的な研究を行う。
- ②『柿田川シンポジウム』を開催し、幅広い知見の集積をはかり、学識者、関係団体、行政機関等と相互に調査・研究成果に関する情報交換を行う。

【歴代代表】

- ・ 平成 12～19 年度 三島 次郎 桜美林大学名誉教授
- ・ 平成 20 年度～現在 加藤 憲二 静岡大学名誉教授・客員教授
放送大学客員教授

【研究会名簿】(令和 3. 4. 1 現在)

- ・ 浅枝 隆 埼玉大学名誉教授 (H29～)
- ・ 板井 隆彦 静岡淡水魚研究会 会長 (H12～)
- ・ 岩田 智也 山梨大学大学院 総合研究部 生命環境学域環境科学系 教授 (H28～)
- ・ 加藤 憲二 静岡大学名誉教授・客員教授 (H16～)
放送大学客員教授
- ・ 川那部 浩哉 京都大学名誉教授 (H12～)
- ・ 佐藤 慎一 静岡大学 学術院 理学領域 地球科学系列 教授 (H26～)
- ・ 志賀 隆 新潟大学 人文社会科学系 教育学系列 准教授 (H28～)
- ・ 渋川 浩一 ふじのくに地球環境史ミュージアム 教授 (H30～)
- ・ 竹門 康弘 京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 准教授 (H12～)
- ・ 谷田 一三 大阪府立大学 名誉教授 (H15～)
- ・ 玉井 信行 東京大学名誉教授 (H12～)
- ・ 知花 武佳 東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 准教授 (H12～)
- ・ 塚越 哲 静岡大学学術院 理学領域 地球科学系列 教授 (H20～)
- ・ 東城 幸治 信州大学 学術研究院 理学系 生物科学領域 教授 (H28～)
先鋭領域融合研究群 山岳科学研究所 研究員 (兼任)
- ・ 三島 次郎 桜美林大学名誉教授 (H12～)

(五十音順)

() 内は入会年

【過去の会員 (役職は退会時)】

- ・ 大島 康行 (財)自然環境研究センター
- ・ 野崎 隆夫 元 神奈川県環境科学センター
- ・ 村上 正志 千葉大学大学院理学研究科生物学コース 准教授
- ・ 山岸 哲 兵庫県立コウノトリの郷公園 園長

(五十音順)

【活動の記録】

開催期間	行事名
平成 12 年 7 月 31 日～8 月 4 日	・ 第 1 回ミニシンポジウム、ワークショップ開催
平成 13 年 4 月 23 日～24 日	・ 第 2 回ミニシンポジウム、ワークショップ開催
平成 13 年 12 月 8 日～9 日	・ 第 3 回意見交換会、ワークショップ開催
平成 14 年 7 月 21 日	・ 第 4 回ミニシンポジウム開催
平成 15 年 3 月 1 日	・ 第 5 回ミニシンポジウム開催
平成 15 年 6 月 29 日	・ 第 6 回ミニシンポジウム開催
平成 15 年 12 月 23 日	・ 第 7 回ミニシンポジウム開催
平成 16 年 6 月 6 日	・ 第 8 回ミニシンポジウム開催
平成 16 年 10 月 31 日	・ 第 1 回柿田川シンポジウム『水・草・鳥・魚・虫たちが織り
	なすユニークな自然』開催
平成 17 年 7 月 18 日	・ 第 9 回ミニシンポジウム開催
平成 17 年 11 月 13 日	・ 第 2 回柿田川シンポジウム『柿田川の自然についての「はて
	な？」をさぐる、「はてな？」にこたえる』開催
平成 18 年 6 月 11 日	・ 第 10 回ミニシンポジウム開催
平成 18 年 11 月 11 日～12 日	・ 第 3 回柿田川シンポジウム『柿田川への夢 柿田川について
	の「夢」を語る』開催
平成 19 年 6 月 10 日	・ 第 11 回ミニシンポジウム開催
平成 19 年 11 月 17 日	・ 第 4 回柿田川シンポジウム『柿田川、その「特異性」』開催
平成 20 年 5 月 31 日	・ 第 12 回ミニシンポジウム開催
平成 20 年 11 月 8 日	・ 第 5 回柿田川シンポジウム『柿田川、人と自然のかかわり』
	開催
平成 21 年 5 月 23 日	・ 第 13 回ミニシンポジウム開催
平成 21 年 11 月 14 日	・ 第 6 回柿田川シンポジウム『柿田川、「水」を見つめる。「水」
	を探る』開催
平成 22 年 5 月 29 日	・ 第 14 回ミニシンポジウム開催
平成 22 年 10 月 23 日	・ 第 7 回柿田川シンポジウム『水の動きと生態系から柿田川を
	考える』開催
平成 23 年 11 月 5 日	・ 第 8 回柿田川シンポジウム『柿田川の水と物質の流れ』開催
平成 24 年 10 月 27 日	・ 第 9 回柿田川シンポジウム『水の中の植物と動物のつながり』
	開催
平成 25 年 11 月 9 日	・ 第 10 回柿田川シンポジウム『生物多様性と自然を活かすと
	りくみ』開催
平成 26 年 11 月 8 日	・ 第 11 回柿田川シンポジウム『日本の湧水と柿田川』開催
平成 27 年 11 月 8 日	・ 第 12 回柿田川シンポジウム『柿田川、そのもたらすもの ～
	実質的な恩恵、やすらぎ、くつろぎ～』開催
平成 28 年 10 月 30 日	・ 第 13 回柿田川シンポジウム『日本が誇る雄大な湧水河川、柿
	田川の新しい研究展開』開催
平成 29 年 11 月 4 日	・ 第 14 回柿田川シンポジウム『水草から考える』開催

開催期間	行事名
平成 30 年 11 月 17 日	・ 第 15 回柿田川シンポジウム 『小動物からなにが見えてくるか』開催
令和元年 11 月 30 日	・ 第 16 回柿田川シンポジウム 『湧水がはぐくむ柿田川の生態系』開催
令和 2 年	・ 新型コロナウイルス流行によりシンポジウム中止